

今後のゼロカーボン推進について

1. 重点対策加速化事業について

令和6年度重点対策加速化事業は、3月に事業計画を環境省へ申請しておりましたが令和6年5月7日、環境省北海道地方環境事務所より「不採択」となった旨連絡がありました。

この事業については、全国的な再エネ導入などの底上げを図るため、脱炭素の基盤となる重点対策の複合実施について、意欲的に取り組む地方公共団体を複数年にわたり包括的に支援する事業で、1事業計画（5カ年計画）に対し、環境省から令和6年度は最大で10億円が交付されるものでありますが、今回不採択となったことから、来年度以降については、再度事業計画の見直しを検討し、申請へ向け進めていきます。

2. せたな町としてのゼロカーボン推進について

せたな町地球温暖化対策実行計画に基づき、ゼロカーボンシティ実現に向け、豊かな地域資源の活用、省エネ、省資源対策をより一層推進していくため、重点対策加速化事業で申請した事業計画を含め、国・道等の補助事業等を活用しながら進めていきます。

今年度においては、「老人ホーム三杉荘」について、太陽光発電導入可能性調査を終えたことから、設備設置へ向け設置可能なPPA事業者と内容について協議したいと考えております。

なお、三杉荘以外の公共施設（16施設）については、今年度、太陽光発電導入可能性調査を実施し、導入が見込める施設については、積極的に導入していきたいと考えております。

今後の課題としては、太陽光発電設備の設置に対応可能な町内事業者が不足していることから、施工が可能な町内事業者の育成等について、建設協会等と協議し進めていきます。

【参考】重点対策加速化事業における事業計画案

- (1) 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電（公共施設含む）
- (2) 地域共生・地域裨益型再エネの立地
- (3) 民間事業者等における徹底した省エネと改修時等のZEB化誘導
- (4) 住宅・建築物の省エネ性能等の向上
- (5) ゼロカーボン・ドライブ